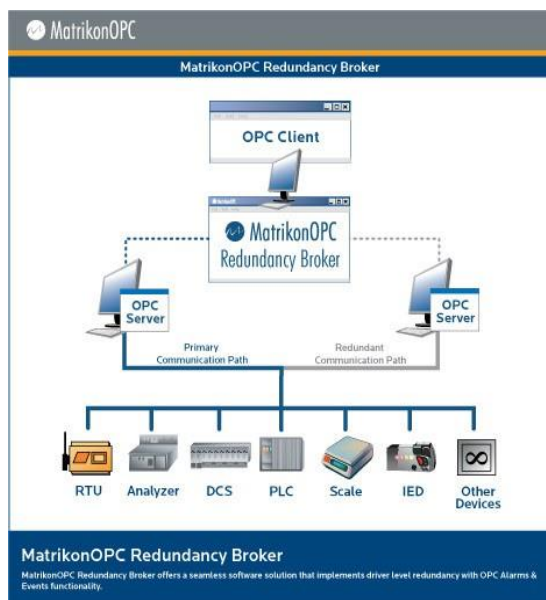


MatrikonOPC Redundancy Broker

MatrikonOPC Redundancy Brokerは、重要なデータの配信に対してシームレスなOPCサーバーレベルの冗長性を提供します。

MatrikonOPC Redundancy Broker (ORB) は、データ通信のためにOPC接続を使用する冗長制御システムの設定を簡単に行えるようにします。冗長ハードウェアおよび/またはソフトウェアが必要な重要なアプリケーションでの使用を目的として設計されており、ORBはOPCクライアントと任意のOPCサーバー間で単一障害点を排除することによって、信頼性の高い通信を維持します。オープンスタンダードであるOPCに基づいているため、OPC Redundancy Brokerはすべてのベンダーの準拠したOPCコネクタと同様に、新規および既存のインストールに簡単に使用できます。

OPC Redundancy Brokerは、ユーザーによって指定されたプライマリOPCサーバーを常に監視します。障害が検出されると、OPC Redundancy Brokerは自動的に通信を待機中のOPCサーバーにリダイレクトします。プライマリおよび待機中のOPCサーバー間をインテリジェントに切り替えることにより、OPC Redundancy Brokerは、OPCサーバーの一方が故障した場合でも、データの損失やダウンタイムを防ぎます。



主な機能：

- 同一サーバーの冗長ペアを複数サポート
- DA、A&E、およびHDA OPCサーバーの冗長性をサポート
- 特定のHDAインターフェース向けに完全なOPC HDAサポート
- ステータスタグにより、ダウンしているOPCサーバーを追跡可能
- 複数レベルの冗長性（ホット、ウォーム、コールド）
- フェイルオーバーの基準が検出されると、自動的にプライマリからスタンバイまたはその逆に切り替え
- 「フェイルオーバー強制」を使用して、手動でプライマリからスタンバイまたはその逆に切り替え
- 強力なフェイルオーバー検出エンジン（アイテムの偏差、しきい値、変化率、品質によるフェイルオーバーのトリガー）
- Windows 32ビットおよび64ビットがネイティブでサポート。

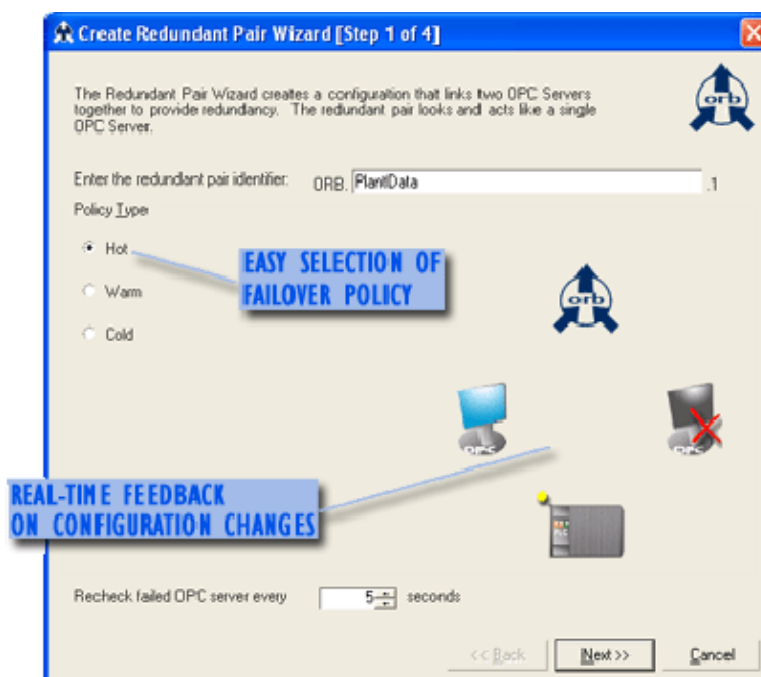
簡単な実装

OPC Redundancy Brokerの設定は簡単です。初期インストールは数分で完了し、冗長ペアの設定も簡単です。直感的なユーザーインターフェースが、プライマリとスタンバイのOPCサーバーの選択をガイドします。デフォルトの基準では通信の障害を検出し、フェイルオーバーを即座に実行できますが、特定のタイプのサーバー障害を定義するための追加の基準もカスタマイズ可能です。ORBはすべてのOPCクライアントソフトウェアと互換性があります。すべての設定とフェイルオーバーの問題は自動的に処理されます！ORBは、プログラミングなしで透過的で冗長な環境の簡単な実装を可能にします。

冗長性の種類

ORBには3種類の冗長性があります：

- ホット：このモードでは、ORBはプライマリサーバーとスタンバイサーバーの両方でタグを購読し、アクティブ化します。このモードはフェイルオーバー中のデータギャップを最小限に抑えます。なぜなら、冗長ペアの両方のOPCサーバーが常に同じデータ更新を受け取るからです。
- ウォーム：このモードでは、ORBはプライマリサーバーとスタンバイサーバーの両方でタグを購読します。タグはプライマリサーバーでのみアクティブ化され、フェイルオーバー条件が発生すると、スタンバイサーバーでタグがアクティブ化されます。このオプションは、スタンバイOPCサーバーとプライマリOPCサーバーを同時にアクティブにすることができない場合に人気です。
- コールド：このモードでは、ORBはプライマリサーバーでのみタグを購読し、アクティブ化します。フェイルオーバーが発生すると、ORBはスタンバイサーバーでタグを購読し、アクティブ化します。このモードは、データソースへの接続が1つしかできない場合（例えば、シリアル接続など）によく使用されます。



シームレスな統合

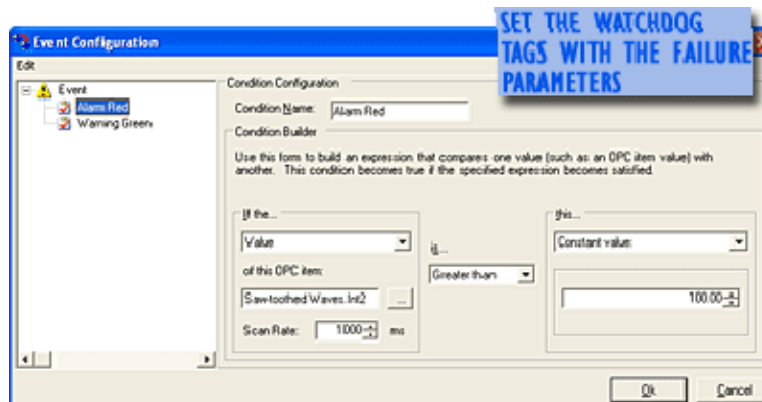
ORBは既存のOPCインフラをシームレスにアップグレードするために使用できます。スタンバイOPCサーバーが追加されると、ORBは自動的にすべてのクライアントソフトウェアを有効にし、強化されたシステムを迅速に利用できるようにします。

接続

ORBは冗長性の実装プロセスをこれまで以上に簡単にします。クリーンなユーザーインターフェースにより、OPC Redundancy Brokerは冗長ペアの構成を簡素化し、既存のOPCアーキテクチャを数分以内に冗長化できます。プログラミングも手間も一切不要です！

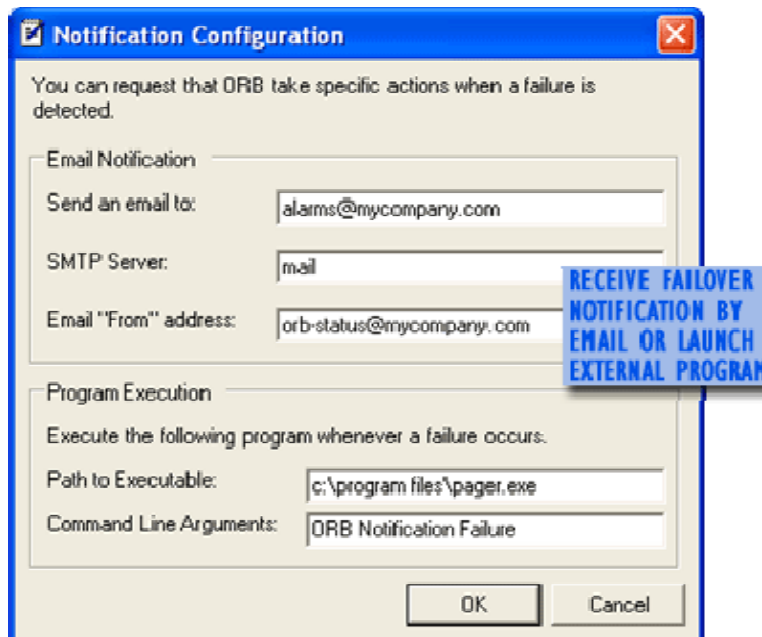
Watchdogタグ

Watchdogタグは、アイテムの偏差、しきい値、変化率、品質に基づくさまざまなトリガー基準に基づいてフェイルオーバーをトリガーするように設定できます。



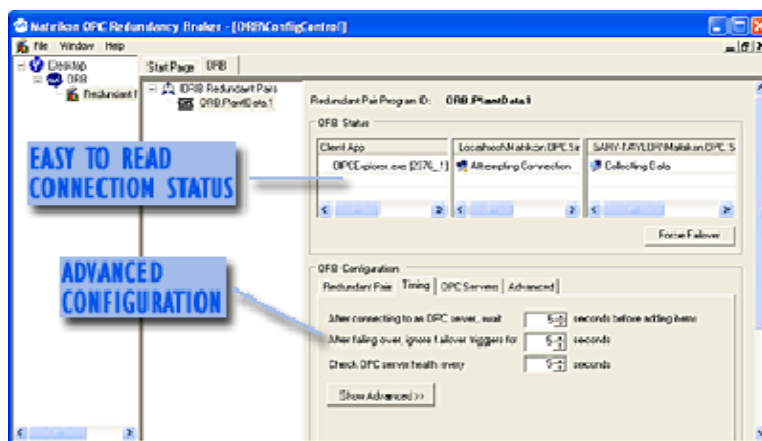
柔軟な診断と通知

ORBはフェイルオーバーを自動的に処理しますが、さまざまな設定可能な方法で通知を提供することもできます！



一目でわかる統計

サイト上で実行中のすべてのORBの状態を確認できます。読みやすいディスプレイは、直感的なWindowsスタイルのアイコンで各ORBの状態を表示します。



サポートされているOPC仕様:

- OPC DA (OPC Data Access) 1.0a, 2.0, 2.05, 3.0
- OPC A&E (Alarms and Events) 1.01
- OPC HDA (Historical Data Access) 1.0, 1.1, 1.2